

1年4組 算数科(ひきざん(2))

平成28年11月30日(水)2校時

これまでに学習したたし算やひき算を使って、計算の紙芝居を作りました。

① 教員の作った計算の紙芝居を見て、式を考える

教員の作ったたし算、ひき算の紙芝居を見て、どんな式の紙芝居なのかを考えました。また、これから作る紙芝居の見直しをもちました。

② 穴埋めで紙芝居を作る

数字や言葉が空欄になっている紙芝居を見て、 $8 + 6$ 、 $12 - 7$ の紙芝居を作りました。これまでの学習から、たし算になる言葉やひき算になる言葉を考えて発表し、できた紙芝居をみんなで音読しました。

③ 絵を見ながら、ペアで紙芝居を作る

絵だけが描いてある紙芝居を見ながら、隣の友だちと二人で、紙芝居の言葉を考えました。また、できた紙芝居を班で発表し、どんな式の紙芝居か当て合いました。

④ 自分で紙芝居を作る

紙芝居ができたペアから、絵も言葉もないワークシートをもらい、計算カードから式を選び、一人で紙芝居を作りました。

①紙芝居を見て、式を考える

たしざんだから増えるので、2枚目には「きました」が入ります。

「あそびにきました」でもいいと思います。

いろんなたしざんの言葉があったね。

②穴埋めで紙芝居を作る



③ペアで紙芝居を作る

3枚目の絵で、えんぴつは減っているから、ひきざんだね。2枚目の言葉は「8本けずりました」にしようか。

「8本つかいました」でもいいと思うな。



紙芝居を見ることからはじめ、穴埋め、ペアでの紙芝居づくりとスモールステップで進めることで、どの子も紙芝居が作れたという達成感を味わうことができました。

(実践者 教諭 伊藤 直美)

〈感想〉

- もっといろいろな式やお話の紙芝居を作りたいです。
- お隣の友だちと力を合わせて紙芝居ができて、うれしかったです。